

工藤奈帆美・レイチェル  
プロフィール

米国ワシントン D.C. 生まれ。4歳より、シカゴでエミリオ・デル・ロザリオ氏にピアノを学ぶ。幼少期を日本で過ごす間、第53回全日本学生音楽コンクールピアノ部門小学生の部全国大会で第1位を受賞。後にシカゴに戻り、室内楽やオーケストラでヴァイオリンも演奏し、カナダのバンクーバーで李金星氏にも師事する。

14歳でポーランドのドゥシニキ国際ショパン音楽祭でリサイタル。16歳でシカゴ交響楽団とフォートワース交響楽団とでオーケストラデビューを果たした。これまでにライブツィヒのバッハ音楽祭、ワルシャワ王宮、パリのコルトー・ホール、ウィーンのみュージックヴェライン、テルアビブ美術館などでソロストおよび室内楽奏者として演奏。この他、デンマークのチボリ国際音楽祭、ノルウェーのベルゲン国際音楽祭、ワシントンD.C.のケネディ・センター、ニューヨークのアリス・タリー・ホール、デヴィッド・ゲフィン・ホール、カーネギー・ホール・ワイルリサイタル・ホールなどで演奏。

ポーランド・ワルシャワ第15回ショパン国際コンクールでファイナリスト・ディプロマ受賞。ドイツ・ライブツィヒ国際ヨハン・セバスティアン・バッハ・コンクールで優勝。米国のギルモア財団からギルモア・ヤング・アーティスト賞、デビッドソン財団のデビッドソン・フェローを受賞。米国ヤング・アーツ財団と日本ロームミュージック財団の元奨学生。

ニューヨークのジュリアード音楽院で学士号と修士号をヨヘベド・カプリンスキー氏とジョセフ・カリヒシュタイン氏の元で取得。在学中にアーサー・ルービンシュタイン賞、ショパン賞、サンダース/テルアビブ美術館賞、笹川良一ヤング・リーダーズ・フェローシップなど数多くの賞を受賞し首席で卒業。また、ジーナ・バックアワー国際ピアノコンクールで2度優勝。その後、マネス音楽院でリチャード・グールド氏、ストーンー・ブルック大学でギルバート・カリッシュ氏の指導の下で博士号を取得。また、ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院でレオン・フライシャー氏とも学ぶ。

ニューヨーク・カーネギー ホールのプロフェッショナル・トレーニング・ワークショップに2度招かれ、エマニュエル・アックス氏とアンドラーシュ・シフ氏、それぞれから指導を受ける。アスペン音楽祭、英国プロシア・コーブ音楽家セミナー、ミュージック@メンロー、パールマンプログラムの室内楽ワークショップ、ニューヨーク・リンカーン・センター室内楽協会の「室内楽との出会い」に参加。

ワルシャワで開催された第18回ショパン国際コンクール、米国ショパンコンクールとクライバーン・ジュニア国際ピアノコンクールのライブストリームの司会者として活躍。2021年2月、ギルモア音楽祭のバーチャル・スペシャル・イベントで、マルク＝アンドレ・アムランの『アンシエンヌ組曲』を世界初演する。

ウェブサイト

[rachelnaomikudo.com](http://rachelnaomikudo.com)

ユーチューブ・チャンネル

[YouTube.com/RachelNaomiKudo](https://www.youtube.com/RachelNaomiKudo)

ソーシャル・メディア

フェイスブック

[facebook.com/rachelnaomikudo](https://www.facebook.com/rachelnaomikudo)

インスタグラム

[instagram.com/rachelnaomikudo](https://www.instagram.com/rachelnaomikudo)

ツイッター

[twitter.com/rachelnaomikudo](https://twitter.com/rachelnaomikudo)

最終更新日: 2023 年 7 月